

平成21年 貯蓄・負債の概況

目 次

I 貯蓄の状況

1 概要	4
(1) 二人以上の世帯の平均貯蓄現在高は1638万円で2.5%の減少	4
(2) 貯蓄現在高が100万円未満の世帯の割合は10.7%	4
2 貯蓄の種類別内訳	6
(1) 二人以上の世帯及び勤労者世帯共に有価証券が減少	6
(2) 貯蓄現在高が多い世帯ほど有価証券の割合が高い	8

II 負債の状況

(1) 二人以上の世帯の平均負債現在高は479万円で3.8%の減少	10
(2) 二人以上の世帯の住宅・土地のための負債は3.4%の減少	12

III 世帯属性別にみた貯蓄・負債の状況

1 世帯主の職業別の状況	13
(1) 貯蓄現在高は個人経営者の世帯が2971万円と最も多い	13
(2) 負債保有世帯の負債現在高は法人経営者の世帯が2070万円と最も多い	15
2 勤労者世帯の年間収入五分位階級別の状況	17
貯蓄現在高は年間収入が高くなるほど多い	17
3 勤労者世帯の世帯主の年齢階級別の状況	21
(1) 貯蓄現在高は年齢階級が高くなるほど多い	21
(2) 負債保有世帯のうち負債超過額が最も多いのは世帯主が30～39歳の世帯	23
4 世帯主が60歳以上の世帯の状況	25
世帯主が60歳以上の世帯では貯蓄現在高が2500万円以上の世帯が約3分の1を占める	25
5 勤労者世帯の住居の所有関係別の状況	26
(1) 持家世帯のうち住宅ローン返済世帯の負債現在高は1496万円	26
(2) 持家世帯のうち住宅の建築時期が平成12年以降の世帯は負債現在高が貯蓄現在高を上回っている	28
6 勤労者世帯の住宅・土地の取得計画の有無別の状況	29
3年以内に住宅・土地の取得計画のある世帯の貯蓄現在高は計画のない世帯のうち持家以外の世帯の約2.3倍	29

IV 貯蓄・負債現在高階級別の収支

1 二人以上の世帯の状況	31
消費支出は貯蓄現在高が多くなるほど多い	31
2 勤労者世帯の状況	33
(1) 平均消費性向は貯蓄現在高が3000万円以上の世帯で最も高い	33
(2) 平均消費性向は負債現在高が多い世帯で低い傾向がうかがえる	34

参考資料

1 二人以上の世帯の貯蓄の推移	35
(1) 貯蓄現在高の年間収入に対する比は半世紀の間に約3.7倍に拡大	35
(2) 有価証券の保有現在高は6年ぶりに減少	36
2 二人以上の世帯の貯蓄の分布状況	37
(1) 4000万円以上の貯蓄を保有する世帯は全体の約1割で貯蓄全体の約4割を占める	37
(2) 60歳以上の世帯は全体の約4割で貯蓄全体の約6割を占める	38